

報道関係者各位

株式会社 BCN

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-12-5 内山ビル 2F
TEL 03-3254-7801 FAX 03-3254-7808

本件に関するお問い合わせは下記にお願いします。
BCN AWARD 2012 実行委員会
E-MAIL:award2012@bcn.co.jp

「BCN AWARD 2012」受賞社決定 全 107 部門の国内ナンバーワン・メーカー決まる ～「BCN IT ジュニア賞 2012」受賞者も発表～

株式会社 BCN(本社:東京都千代田区、取締役社長 奥田喜久男)は 1 月 13 日、全国の主要な家電量販店、パソコン専門店、ネットショップの POS データ集計にもとづき、パソコン関連商品ならびにデジタル家電商品 107 部門での年間販売台数累計におけるナンバーワン・メーカーを選ぶ「BCN AWARD 2012」の受賞社を発表した。対象期間は 2011 年 1 月から 12 月までで、今回は 107 部門、52 社が受賞。また、1 月 25 日(水)に BCN AWARD 2012 の表彰式を大手町サンケイプラザ(東京都千代田区)で開催する。

「BCN AWARD」は、全国の主要な家電量販店、パソコン専門店、ネットショップの実売データを集計する当社が、そのデータをもとに年間(1 月～12 月)販売台数累計第 1 位のメーカーを表彰する制度です。「BCN AWARD 2012」では、23 社 2,365 店舗を集計対象としています()。受賞社決定にあたっては、サイバー大学教授・前川徹氏、長野市教育長・堀内征治氏、弁護士・辛島睦氏、デジタル・メディア評論家・麻倉怜士氏、IT ジュニア育成交渉協会理事長・高橋文男氏の 5 名の有識者からなる「認証委員会」を設置し、委員会の認証を経る公正な評価システムを導入しています。

() 集計対象の社数は、当社と販売店との間でデータ提供契約を締結している法人数をカウントしています。また、店舗数は新規出店、統廃合などにより若干変動いたします。

【「BCN AWARD 2012」開催概要】

開催日時：2012 年 1 月 25 日(水) 15:00～17:00(開場 14:30)

会場場所：大手町サンケイプラザ 4F ホール(東京都千代田区大手町 1-7-2)

【2011 年トピックス】

2011 年は、東日本大震災やタイの大洪水など、大災害がデジタル家電製品の生産や流通に多大な打撃を与えた年だった。薄型テレビはデジタル化目前の駆け込み購入で盛り上がったものの、7 月のアナログ停波の境に地デジ化特需はほぼ終了した。一方、スマートフォンは本格的な普及期に突入。タブレット端末市場も、多くのメーカーが本格的に参入し始めたことで徐々に立ち上がってきた。

【新設部門と受賞社の主な顔ぶれ】

「BCN AWARD 2012」の対象部門は、ハードウェアが 74 部門、ソフトウェアが 33 部門の計 107 部門。今回、「タブレット端末」₁、「タブレット端末アクセサリ」₂、「三脚・一脚」₃、「スマートフォン」の 4 部門を新設した。新設部門の受賞社は、タブレット端末部門がアップル、タブレット端末アクセサリ部門がエレコム、三脚・一脚部門がスリックだった。そのほか、ハードウェア部門では、携帯オーディオ部門でソニーが初受賞。PC カメラ部門は、接戦を制したバッファローコクヨサプライが受賞した。ソフトウェア部門では、マイクロソフトが 6 部門で 13 年連続 13 回目の受賞を果たした。

【10年連続受賞ベンダー】

10年連続でBCN AWARDを受賞した3企業3部門は以下の通り。

- 株式会社バッファロー（無線LAN部門）
- エレコム株式会社（キーボード部門）
- アドビ システムズ株式会社（画像処理ソフト部門）

<実売データ提供販売店>

アベルネット、アマゾン ジャパン、エディオン、NTT レゾナント、大塚商会、グッドウィル、ケースホールディングス、サードウェーブ、サンキュー、上新電機、スタート、ストリーム、ソフマップ、ZOA、ナニワ商会、ビックカメラ、ピーシーデポコーポレーション、ベスト電器、三星カメラ、ムラウチドットコム、MOA、ユニットコム、ラオックス = (50音順) の23社

BCN AWARD 2012 受賞社一覧

<ハードウェア部門74部門33社>

部門名	受賞社	受賞回数
デスクトップPC部門	日本電気株式会社 / NECパーソナルコンピュータ株式会社	3年連続9回目
ノートPC部門	日本電気株式会社 / NECパーソナルコンピュータ株式会社	5回目
タブレット端末部門	Apple Japan合同会社	初受賞
タブレット端末アクセサリ部門	エレコム株式会社	初受賞
液晶ディスプレイ部門	三菱電機株式会社	2年連続11回目
インクジェットプリンタ部門	セイコーエプソン株式会社 / エプソン販売株式会社	8回目
ページプリンタ部門	キヤノン株式会社 / キヤノンマーケティングジャパン株式会社	11回目
サーマルプリンタ部門	キヤノン株式会社 / キヤノンマーケティングジャパン株式会社	7年連続7回目
複合プリンタ部門	セイコーエプソン株式会社 / エプソン販売株式会社	8回目
フォトプリンタ部門	セイコーエプソン株式会社 / エプソン販売株式会社	4年連続6回目
外付けハードディスクドライブ部門	株式会社バッファロー	4年連続9回目
内蔵ハードディスクドライブ部門	株式会社バッファロー	13年連続13回目
記録型DVDドライブ部門	株式会社バッファロー	4年連続4回目
SSD部門	マイクロン ジャパン株式会社	初受賞
メモリ部門	シー・エフ・デー販売株式会社	初受賞
マザーボード部門	アスース・ジャパン株式会社	7年連続9回目
メモリカード部門	KINGMAX Technology Inc. / 株式会社磁気研究所	初受賞
USB部門	エレコム株式会社	12年連続12回目
カードリーダー部門	エレコム株式会社	2年連続3回目
拡張インターフェース部門	シー・エフ・デー販売株式会社	3年連続3回目
USBメモリ部門	株式会社バッファロー	7年連続7回目
KVM切替器部門	エレコム株式会社	初受賞
PCケース部門	Antec, Inc. / 株式会社リンクスインターナショナル	5年連続5回目
ヘアボン部門	日本Shuttle株式会社	5年連続5回目
PC電源部門	シー・エフ・デー販売株式会社	初受賞
ドライブケース部門	シー・エフ・デー販売株式会社	2年連続4回目
スピーカ部門	ソニー株式会社 / ソニーマーケティング株式会社	初受賞
DTM関連機器部門	株式会社コルグ	初受賞
映像関連ボード部門	株式会社アイ・オー・データ機器	9年連続11回目
サウンド関連ボード部門	クリエイティブメディア株式会社	13年連続13回目
グラフィックボード部門	シー・エフ・デー販売株式会社	9年連続9回目

部門名	受賞社	受賞回数
サラウンドシステム部門	オンキヨー株式会社 / オンキョーマーケティングジャパン株式会社	8年連続8回目
ヘッドホン・イヤホン部門	株式会社オーディオテクニカ	3年連続3回目
ヘッドセット部門	エレコム株式会社	初受賞
携帯オーディオ部門	ソニー株式会社 / ソニーマーケティング株式会社	初受賞
携帯オーディオアクセサリ部門	エレコム株式会社	5年連続5回目
ICレコーダー部門	オリンパスイメージング株式会社	6年連続6回目
プリントサーバ部門	株式会社バッファロー	12年連続12回目
LANカード部門	株式会社バッファロー	13年連続13回目
HUB部門	株式会社バッファロー	11年連続12回目
UPS部門	シュナイダーエレクトリック株式会社	4年連続4回目
ルータ部門	株式会社バッファロー	9年連続10回目
無線LAN部門	株式会社バッファロー	10年連続10回目
PLC部門	パナソニック株式会社	4年連続4回目
スキャナ部門	株式会社PFU	2年連続2回目
デジタルカメラ(レンズ一体型)部門	キヤノン株式会社 / キヤノンマーケティングジャパン株式会社	8年連続8回目
デジタルカメラ(一眼レフ)部門	キヤノン株式会社 / キヤノンマーケティングジャパン株式会社	4年連続6回目
デジタルカメラ(ミラーレス一眼)部門	オリンパスイメージング株式会社	初受賞
デジタルビデオカメラ部門	ソニー株式会社 / ソニーマーケティング株式会社	8年連続8回目
新設 三脚・一脚部門	スリック株式会社	初受賞
デジタルフォトフレーム部門	ソニー株式会社 / ソニーマーケティング株式会社	4年連続4回目
交換レンズ部門	キヤノン株式会社 / キヤノンマーケティングジャパン株式会社	3年連続3回目
PCカメラ部門	株式会社バッファローコクヨサプライ	3回目
マウス部門	エレコム株式会社	12年連続12回目
キーボード部門	エレコム株式会社	10年連続10回目
ゲームコントローラ部門	エレコム株式会社	8年連続8回目
ペンタブレット部門	株式会社ワコム	13年連続13回目
10キーボード部門	エレコム株式会社	8年連続8回目
新設 スマートフォン部門	Apple Japan合同会社	初受賞
スマートフォンアクセサリ部門	株式会社テレホンリース	2年連続2回目
CDメディア部門	イメーション株式会社	3年連続3回目
DVDメディア部門	イメーション株式会社	4年連続4回目
BDメディア部門	イメーション株式会社	2年連続2回目
液晶テレビ(40インチ未満)部門	シャープ株式会社 / シャープエレクトロニクスマーケティング株式会社	8年連続8回目
液晶テレビ(40インチ以上)部門	シャープ株式会社 / シャープエレクトロニクスマーケティング株式会社	8年連続8回目
プラズマテレビ部門	パナソニック株式会社	8年連続8回目
デジタルチューナー部門	マスプロ電工株式会社	3年連続3回目
DVDレコーダー部門	株式会社東芝	3年連続3回目
BDレコーダー部門	パナソニック株式会社	2回目
DVDプレーヤー部門	パイオニア株式会社 / パイオニアマーケティング株式会社	初受賞
BDプレーヤー部門	パイオニア株式会社 / パイオニアマーケティング株式会社	初受賞
プロジェクター部門	セイコーエプソン株式会社 / エプソン販売株式会社	8年連続8回目
電子辞書部門	カシオ計算機株式会社	7年連続7回目
PND部門	パナソニック株式会社	2年連続2回目

<ソフトウェア部門33部門19社>

部門名	受賞社	受賞回数
OS部門	日本マイクロソフト株式会社	13年連続13回目
プログラミングソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	13年連続13回目
統合ソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	13年連続13回目
ワープロ・エディタソフト部門	株式会社ジャストシステム	13年連続13回目
FEPソフト部門	株式会社ジャストシステム	13年連続13回目
文書管理ソフト部門	ソースネクスト株式会社	9年連続9回目
データベースソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	13年連続13回目
表計算・グラフソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	13年連続13回目
データ管理ソフト部門	株式会社ヴァル研究所	7回目
MAP・ナビソフト部門	株式会社筆まめ	2年連続4回目
プレゼンテーションソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	13年連続13回目
DTPソフト部門	株式会社筆まめ	3年連続3回目
CADソフト部門	オートデスク株式会社	5回目
グラフィックスソフト部門	アドビ システムズ株式会社	9年連続12回目
ビデオ関連ソフト部門	コーレル株式会社	2年連続3回目
画像処理ソフト部門	アドビ システムズ株式会社	10年連続10回目
サウンド関連ソフト部門	クリプトン・フューチャー・メディア株式会社	5年連続5回目
LAN・インターネットソフト部門	株式会社ジャストシステム	4年連続4回目
通信ソフト部門	株式会社インターコム	12年連続12回目
業務ソフト部門	弥生株式会社	13年連続13回目
申告ソフト部門	弥生株式会社	8年連続8回目
ユーティリティソフト部門	株式会社ジャストシステム	2年連続2回目
携帯電話ソフト部門	株式会社ジャングル	2年連続2回目
セキュリティソフト部門	トレンドマイクロ株式会社	4年連続4回目
システムメンテナンスソフト部門	AOSテクノロジー株式会社	3年連続3回目
教育・学習ソフト部門	ソースネクスト株式会社	3年連続8回目
トレーニングソフト部門	ソースネクスト株式会社	11年連続12回目
テンプレートソフト部門	株式会社コーパス	初受賞
フォントソフト部門	ダイナコムウェア株式会社	12年連続12回目
クリップアートソフト部門	株式会社データクラフト	9年連続9回目
葉書・毛筆ソフト部門	株式会社筆まめ	13年連続13回目
ホームソフト部門	テクニカルソフト株式会社	3年連続3回目
PCゲームソフト部門	株式会社イーフロンティア	4年連続4回目

< 「BCN IT ジュニア賞 2012」 >

株式会社 BCN では、技術立国日本の次代を担う若い世代にモノづくりの情熱を伝え、IT 産業に一人でも多くの優秀な人材を招き入れるために、2006 年に「BCN IT ジュニア賞」を創設した。

「BCN IT ジュニア賞」は、特定非営利活動法人 IT ジュニア育成交流協会からの推薦を受け、IT に取り組む若者を対象としたコンテストで優秀な成績をおさめるなど、すぐれた技術を持つ IT ジュニアの学生を表彰している。今回は、全国の高等専門学校生徒が参加する「全国高等専門学校プログラミングコンテスト」、全国の工業高校生を対象とした「高校生ものづくりコンテスト」、「全国高校生プログラミングコンテスト」、そして全国の 20 歳以下の IT エンジニアを対象とした「U-20 プログラミング・コンテスト」といった大会の入賞者から、優れた技術を持つ若きエンジニアたちを選定、「BCN AWARD」表彰式の会場で表彰を行う。今回は 5 チームと個人 4 名を受賞者として選定した。

IT 関連メーカーのトップが集う BCN AWARD と同じ壇上で、経営トップから激励と表彰を受けることで、若者たちにモノづくりに取り組む情熱が受け継がれることを期待している。

< 「BCN IT ジュニア賞 2012」受賞チーム・受賞者 >

- ・ 宮城県工業高等学校 CHaser2011 優勝チーム
- ・ 愛媛県立松山工業高等学校 山本達也
- ・ 名古屋市立向陽高等学校 河田智明
- ・ 宮城県工業高等学校 高橋翔哉
- ・ 信州大学 山本裕二郎
- ・ 新潟コンピュータ専門学校 チームあわわ
- ・ 国立香川高等専門学校 高松キャンパス 「スマートアンブレラ」制作チーム
- ・ 国立東京工業高等専門学校 「All Lights! - 可視光通信による省電力照明システム - 」制作チーム
- ・ 国立久留米工業高等専門学校 「Ikannol Mk- - この前のうどん美味しかったね - 」制作チーム

< 「BCN AWARD 2012」後援団体 >

公益財団法人 日本生産性本部
社団法人 コンピュータソフトウェア著作権協会
一般社団法人 電子情報技術産業協会
一般社団法人 日本コンピュータシステム販売店協会
社団法人 コンピュータソフトウェア協会

協力

特定非営利活動法人 IT ジュニア育成交流協会

本件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

BCN AWARD 2012 実行委員会 TEL:03-3254-7801 E-MAIL:award2012@bcn.co.jp